

戸田市 事務事業評価 《事後評価シート》

事務事業名	21117 スポーツ振興事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当		
組織コード	R3	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	10	05	01	02	01	記入日	令和 3年 6月24日
	R2	13	10	00		R2	01	10	05	01	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補	
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	○ 対象 ● 対象外
分野	05	スポーツ・レクリエーション	
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事業期間	平成16年度～令和6年度		
根拠法令 通達等	スポーツ基本法	関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの		
対象	市民等		
事業目的	スポーツ・レクリエーション活動の推進を図り、市民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに楽しむことのできる環境をつくる。		
事業内容	スポーツ推進全般に係る事務。スポーツ推進審議会やスポーツ推進委員会、各種スポーツイベント・教室等を開催するとともに関係団体への補助を行い、市のスポーツ推進を図る。		
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()		

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容	令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
		事業内容	スポーツ推進審議会等スポーツ振興全般に係る事務	3,256	41,425	41,425	41,425
財源内訳	事業費	3,256	41,425	41,425	41,425	41,425	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	1,509	0	0	0	
	一般財源	3,256	39,916	41,425	41,425	41,425	
	人件費	2,769.6	25,618.8	0	0	0	
投入人員	常勤職員	0.4人	3.7人	0人	0人	0人	
	非常勤職員	0人	0.8人	0人	0人	0人	
	事業費+人件費	6,026	67,044	41,425	41,425	41,425	
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	スポーツ推進審議会開催日数	日		2	3	2
					3	3	-
	活動②						
	成果①	市主催のスポーツ教室の参加率	%		90	90	-
74.3					-	-	
成果②	スポーツ教室の参加者数	人		-	-	57,350	
				-	-	-	
目標達成状況の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 戸田市スポーツ推進審議会を3回開催し、戸田市スポーツ推進計画を策定した。市主催のスポーツ教室の参加率については、第2期スポーツ推進計画の指標と合わせ、令和3年度よりスポーツ教室の参加者数を目標とした。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> スポーツ推進審議会において、令和3年度から開始する第2期戸田市スポーツ推進計画を策定し、市のスポーツ政策を協議検討している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 経費は精査されており、適性な範囲で行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> スポーツ推進審議会委員に公募市民を加え、多様な視点からの意見を取り入れることができるように取組んでいる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 計画の策定など、市のスポーツ推進に関する事業を実施しており、適正な範囲である。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	スポーツ推進審議会において、第2期戸田市スポーツ推進計画について審議した。
見直しの効果	第2期戸田市スポーツ推進計画を策定した。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input checked="" type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 第2期スポーツ推進計画で定めたスポーツ推進について、引き続き戸田市スポーツ推進審議会からの意見を聞き、推進事業を行っていく必要がある。 名称をスポーツ推進事業へ変更する。
今後の取組方針	スポーツ推進審議会において、「第2期戸田市スポーツ推進計画」の進捗状況を報告するとともに、審議された意見を事業に反映させながら、スポーツ情報の一元化や、地域資源の一層の活用を図り、「する」「みる」「ささえる」スポーツへ参画する市民を増加させる。

事務事業名	50610 オリンピック・パラリンピック推進事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	オリンピック・パラリンピック担当		
組織コード	R3	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	10	05	01	02	02	記入日	令和 3年 6月24日
	R2	13	10	00		R2	01	10	05	01	02	07		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	● 対象 ○ 対象外
分野	05 スポーツ・レクリエーション	
施策	14 スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事業期間	平成29年度～令和3年度	
根拠法令 通達等	スポーツ基本法	戸田市スポーツ推進計画 令和2年度施政方針
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象	市民	
事業目的	東京オリンピック・パラリンピックを通じて「スポーツの力」を市民に伝えることで人々に希望を与え、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図るだけでなく、文化の醸成や共生社会の実現に向けた次世代への「遺産（レガシー）」の創出を推進する。	
事業内容	オリンピック・パラリンピック事業推進本部及び実行委員会を設置し、本市におけるオリンピック・パラリンピックを通じたレガシー創出に向けて、全庁的に取り組む。	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (埼玉県ホート協会)	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
		事業費	オリンピック・パラリンピック事業の推進	5,508	35,032	0	0	0
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		5,508	35,032	0	0	0	
	人件費		13,848	20,772	0	0	0	
投入 人員	常勤職員		2人	3人	0人	0人	0人	
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
	事業費+人件費		19,356	55,804	0	0	0	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	気運醸成イベントの回数	回	オリパラに対する市民の気運醸成イベント実施		3	1	1
	活動②					3	1	-
	成果①	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の受入	国			1	1	1
	成果②					0	0	-
目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 新型コロナウイルスの感染拡大によりオリンピック・パラリンピックは延期となったが、感染拡大に留意しながら気運醸成を図ることができた。また、オリンピック延期発表後もオーストラリアカヌー代表チームとは、事前キャンプを実施する予定で調整を進めている。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 新型コロナウイルスの感染拡大によって東京オリンピック・パラリンピック競技大会が延期となったものの、令和3年度の開催に向けて準備を進めている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 炬火台モニュメント製作において、埼玉県の補助制度を活用し、経費の削減に努めた。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	A	A	B	<判断理由> オリンピック・パラリンピックの延期により、予定していた事業が実施できなかったものの、令和3年度の本大会実施に向けた準備を適正に行った。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 広く市民に向けた事業であり、適正な範囲である。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	延期となった聖火リレーや事前キャンプの受け入れに向けて事業内容を精査し、コロナ禍においても最小の費用で実施できる方法を検討した。
見直しの効果	事業内容の詳細を検討したことにより、令和3年度の予算額を縮減することができた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input checked="" type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 令和3年度のオリンピック・パラリンピックの開催に向かって、気運醸成を引き続き実施するとともに、事業内容を精査しレガシー創出のための取り組みを進めていく。東京オリンピック・パラリンピック終了後は事業を終了する。
今後の取組方針	東京オリンピック・パラリンピックの開催をきっかけに、本市の地域資源であるボートの魅力を発信していき、市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進を図っていく。 東京オリンピック・パラリンピック終了後は、ボートのまちとしての啓発や市内スポーツ・レクリエーション全体の推進に努められるよう、現状との取り組みと融合を図る。

事務事業名	7556 スポーツ団体育成事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当		
組織コード	R3	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	10	05	01	02	87	記入日	令和 3年 6月24日
	R2	13	10	00		R2	01	10	05	01	02	03		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	05	スポーツ・レクリエーション											
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進											
事業期間	平成17年度～令和2年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市内スポーツ・レクリエーション団体等の会員。												
事業目的	戸田市体育協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団等の団体を育成・支援し、生涯スポーツの普及促進を図る。												
事業内容	各スポーツ・レクリエーション団体の運営支援を行う。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	事業内容	スポーツ団体等の連絡調整と運営					
	事業費	9,477	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	9,477	0	0	0	0
	人件費	1,384.8	0	0	0	0	
	投入 人員	常勤職員	0.2人	0人	0人	0人	0人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		10,862	0	0	0	0	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	市内スポーツ・レクリエーション団体数	団体	体育協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団の合計	75 76	75 75	—
	活動②						—
	成果①	市内スポーツ・レクリエーション団体加入者数	人	上記3団体の加入者数	21,000 22,203	21,000 22,305	—
	成果②						—
	目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 市内スポーツ・レクリエーション協会等の団体数は、目標値を達成した。スポーツ・レクリエーション団体加入者数については、それぞれの団体の努力もあり、目標値も達成し、堅調な数値となっている。					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 各団体への育成支援・活動支援を行ったことで、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進につながっている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 各団体とも適正に運営を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 各団体とも適正に運営を行っているが、更なる事務の効率化を推進すべきと考える。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 市域におけるスポーツ・レクリエーション団体への支援であり、各団体とも適正に運営を行っている。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input checked="" type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> スポーツ・レクリエーション団体の育成は、市民の生涯スポーツを推進していくうえで、大変重要な役割を担っており、今後も引き続き効果的な運用ができるよう継続する必要がある。 令和3年度よりスポーツ推進事業へ統合する。
今後の取組方針	補助金の枠組みの見直しや各団体の拠点の統合、またそれぞれの役割を明確にし、効果的な運用ができるよう引き続き支援していく。また、各団体間の連携を図り、将来的にスポーツフェスタ等の開催を視野に入れて支援していく。

事務事業名	7528 スポーツ普及事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当		
組織コード	R3	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	10	05	01	02	88	記入日	令和 3年 6月24日
	R2	13	10	00		R2	01	10	05	01	02	04		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	05	スポーツ・レクリエーション											
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進											
事業期間	平成17年度～令和2年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民全般												
事業目的	戸田市独自でスポーツ・レクリエーション教室を開催し、市民がスポーツ・レクリエーションに触れる機会を増加し、生涯スポーツの普及を図る。												
事業内容	各種スポーツ・レクリエーション教室に加えて、戸田市の地域資源を活かしたボート・カヌー教室を実施する。競技スポーツ者への支援として全国大会・国際大会に出場する市民・チームに対して助成金を交付する。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		3,062	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	3,062	0	0	0	0	
	人件費		6,924	0	0	0	0	
	投入 人員	常勤職員	1人	0人	0人	0人	0人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		9,986	0	0	0	0		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動	①	スポーツ教室開催日数	日	各種スポーツ教室(ボート、カヌー)開催日数の合計	30	26	
						22	10	-
	成果	①	スポーツ教室参加者数	人	各種スポーツ教室延べ参加者数の合計	600	360	
						304	153	-
	成果	②						
目標達成 状況 の分析		C: 活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止した教室があり、目標の達成に至らなかった。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 年間を通して戸田ポートコースや彩湖でのポート教室、カヌー教室の事業計画を策定し、実行している。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止した教室もあったが、開催方法を工夫して教室を実施した。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 経費削減に努め、適正に運営を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 教室は専門的な知識を持った外部講師に委託するなど、効率的に事業を行っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 参加費は保険料を基本としており、備品等の運搬費は経費の一部を受益者負担とし、適正な範囲で行っている。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止となった教室もあったが、流行が落ち着いた夏～秋にかけて、例年より定員を減らしたほか消毒等の感染症対策を徹底して、少人数での教室を開催できた。
見直しの効果	コロナ禍での安心・安全な教室開催を実現できた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input checked="" type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 市民のスポーツ・レクリエーションに触れる機会の確保のため、継続していく必要がある。特に、地域資源を活かした「ポート教室」及び「カヌー体験教室in彩湖」については、今後も引き続き実施していく。令和3年度よりスポーツ推進事業へ統合する。
今後の取組方針	戸田独自の地域資源を生かした事業について、より多くの市民に参加してもらえるよう開催方法や周知方法を工夫していく。

事務事業名	7668 スポーツイベント開催事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当		
組織コード	R3	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	10	05	01	02	89	記入日	令和 3年 6月24日
	R2	13	10	00		R2	01	10	05	01	02	05		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	05	スポーツ・レクリエーション											
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進											
事業期間	昭和59年度～令和2年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民等												
事業目的	スポーツ・レクリエーションイベントを開催し、市民がスポーツ・レクリエーションに接する機会の拡大を図るとともに、スポーツレクリエーションを通して戸田市の魅力を市内外に広めることにより地域資源の活性化を図る。												
事業内容	・市民主体による実行委員会方式で、市民体育祭地区大会やマラソン大会等のイベントを開催する。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (実行委員会)												

2. 実施結果

		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	事業内容	スポーツ・レクリエーションのイベントを開催する					
	事業費	308	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	308	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	
	投入 人員	常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		308	0	0	0	0	

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	スポーツイベント開催回数	回	マラソン大会・市民体育祭・市民体カテストの回数	3	3
活動②				2	1	-
成果①	戸田マラソン申込者数	人		6,300	-	-
				6,159	-	-
成果②	戸田市民体育祭地区大会参加者数	人		8,000	8,000	-
				4,336	0	-

目標達成状況の分析	C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> スポーツイベント開催回数について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、マラソン大会、市民体育祭は中止となり、市民体カテストは対象者を絞っての縮小開催となった。そのため、目標は達成できなかった。令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症対策と事業実施の両立を図るため、スポーツイベントの実施方法について研究するとともに見直しを図り、開催へ繋げていく。					
-----------	---	--	--	--	--	--

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 新型コロナウイルス感染症対策により、いくつかの事業は中止となったが、市民体カテストは対象者や競技を絞り、感染対策を実施したうえでの開催の成功を収めた。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> イベントの実施内容を適宜見直ししている。併せて、経費の効率化についても検討をしている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 規模の大きいイベントについては、町会や関係団体で構成する実行委員会において実施内容等を決定しており、適切である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 参加費の支払いを求めている事業については、適切な金額の参加費を徴収している。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	市民体カテストの開催方法を、感染症拡大状況に即した内容のものに見直しをした。(対象者、競技種目の絞り込み及び使用器具の消毒等の実施。)
見直しの効果	事業を継続させるとともに、市民が安心して参加をすることができた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input checked="" type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 戸田マラソン大会については、外的要因により中止となったが、現状の規模で維持していく。戸田市民体育祭地区大会については、町会・自治会が中心となって実施しているが、町会未加入者が増えているため、町会未加入者でも気兼ねなく参加できるような運営方法を検討していく。 令和3年度からスポーツ推進事業へ統合する。
今後の取組方針	戸田マラソン大会については、新型コロナウイルス対応や全国のマラソン大会の動向を踏まえ、適正な募集定員や参加料についての検討を行いながら事業を継続していく。

事務事業名	7449 スポーツ交流事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当		
組織コード	R3	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	10	05	01	02	90	記入日	令和 3年 6月24日
	R2	13	10	00		R2	01	10	05	01	02	06		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	05	スポーツ・レクリエーション											
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進											
事業期間	平成17年度～令和2年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画						
	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民、戸田市及び該当する市町村の競技団体の会員。												
事業目的	スポーツを通じて、県南4市・姉妹都市等との地域交流と競技力の向上を推進する。												
事業内容	①美里町のスポーツ交流の企画、参加 ②ポートサミット等への参加 ③交流レガッタへ市代表クルーを派遣する。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績			令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業内容		姉妹都市等とのスポーツ交流					
財源内訳	事業費		46	0	0	0	0	
	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		46	0	0	0	0	
人件費		2,077.2	0	0	0	0		
投入 人員	常勤職員	0.3人	0人	0人	0人	0人		
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人		
事業費+人件費		2,123	0	0	0	0		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	スポーツ交流実施日数	日	都市交流事業延べ日数		13	10	
						11	0	-
	活動②	ポート学生との交流イベント実施回数	回			1	1	
						1	0	-
	成果①	スポーツ交流事業参加者数	人	都市交流事業参加者数		390	290	
					363	0	-	
成果②								
							-	
目標達成 状況 の分析	C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業の実施ができず、目標の達成に至らなかった。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> ボート競技や県南4市まちづくり協議会を通じたスポーツ交流を積極的に行うことで、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図っている。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、事業の実施ができなかった。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 最小限度の経費で事業運営を行っており、適正な範囲で行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 県南4市まちづくり協議会を通して効果的な事業を検討し、市民を中心に県南4市や全国ボート場所在市町村との交流が図られており、事業手法は適正な内容である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 補助金交付要綱等に基づき適正に行っている。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、随時事業の実施方針を見直したが、市民の安全面を確保するため、事業の中止を決定した。
見直しの効果	なし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input checked="" type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 令和2年度に続き、令和3年度本市が県南4市まちづくり協議会教育・文化・スポーツ専門部会の幹事市であるため、スポーツによる都市交流事業を着実に実施する必要がある。関係団体等とも連携を図りながら、計画的な事業の展開を実施していく。 令和3年度からスポーツ推進事業へ統合する。
今後の取組方針	スポーツを通じて姉妹都市等の人々とより一層交流を深めていく。加えて、ボートに関しては、市民がボートやボートコースを親しむ機会の拡充や地域の活性化につなげていく事業を行っていく。また、令和3年度から全国ボート場所在市町村協議会の会長市として、円滑に事務を進めていく。